



6年生 人権発表

「O(お願い)F(平和に)C(して)」

季節はすっかり冬となり寒い日々が続いていますが、子どもたちは冬の寒さに負けず、元気に過ごしています。さて、今回のハートアップは11月24日(月)に6年生が発表した人権学習の内容を紹介します。

今回、6年生は修学旅行で行った平和セレモニーを発表で行いました。平和学習を始めた当初は、戦争は恐ろしいものであるというぐらいの認識でした。しかし、自分たちで調べ学習をしたり、戦争についての講話を聞いたりする中で、戦争で苦しんだ人々や戦争を通して平和を願う人々の思いを知っていきました。また修学旅行では、原爆ドームや平和記念資料館などへ行き、原子爆弾によって広島町の町や人々の被害を目の当たりにし、戦争の悲惨さや平和の大切さをより一層実感することができました。

そして、私たちは、修学旅行やこれまでの平和学習でそれぞれが学んできたことを「次は自分たちが発信していきたい」と思い、新北資料館を作りました。人権学習発表会と合わせて、現在展示している新北資料館を通して、全校のみなさんに平和の大切さを6年生全員でうたえました。それでは、各学年の振り返りを紹介します。

人権学習の様子



各学年の振り返り

1年生

- せんそうでたくさんの方がなくなってしまうのは、すごくこわいとおもいました。だから、ぜったいにせんそうはしてはいけないとおもいました。わたしはともだちとたすけあってなかよくしたいです。
- ぼくはせんそうをおこしたくないとおもいました。しんでしまったらだいすきなかそくにもあえないからです。

2年生

- へいわって当たり前じゃないということが分かった。せんそうがおきたら、友だちもかそくもいなくなってしまうことが悲しいから、平和を大事にしたいと思った。
- 相手の気持ちを考えるのは難しいことだけど、みんなの思いが1つになれば、相手の気持ちが分かってせんそうがやめれるかもしれないと思った。

3年生

- 戦争が起こらないように、ひとりひとりが考えて行動しなければいけないと思いました。
- 今でも戦争をしている国があるので、人ごとではなくみんなが行動を起こして、平和な世界になってほしいと思いました。

4年生

- 戦争は、絶対してはいけないと思った。いつもふつうに過ごしていることを平和だと思って、過ごさないといけないと思った。そして、戦争でおきたいろいろなことを、伝えたい気持ちが伝わりました。
- 私たちが今できることは、みんなと仲良くして差別やいやなことをせず、助け合って暮らすことが大切だと考えました。

5年生

- 今よりもっともっと平和な世界をたもつために、お互いを認め合い、まずは友達と仲良くすることだと思いました。友達とけんかをして、すぐ「ごめんね。」と言ったらそれも平和な世界に大きく繋がると思います。
- どんなことで戦争になったりしたら平和な世界になるのかをもっと自分で調べようと思いました。